

Kansai Harmonica Federation
NO. 118 会報

December 1993

- ◇ 編集局長、上野忠彦さんを悼む…………… 2
- ◇ 関西ハーモニカ祭り堂々開催…………… 4
- ◇ 和歌山かつらぎ町総合文化会館オープン記念演奏… 6
- ◇ ハーモニカ調律と修理の研修会開催…………… 7
- ◇ How to enjoy Ensemble…………… 8
- ◇ アンデパンダン・ハーモニカ・コンサート…………… 12
- ◇ 関西ハーモニカポップス定期演奏会… 13
- ◇ 尼崎ハーモニカ・エコーズ10周年記念コンサート… 14
- ◇ 大盛況の枚方ハーモニカコンサート… 17



関西ハーモニカ連盟
Kansai Harmonica Federation

平成5年12月1日発行
第118号

編集局長、上野忠彦さんを悼む

理事長 仲村 眞

関西ハーモニカ連盟の常任理事、編集局長の上野忠彦さんが本年（平成5年）9月23日の午前11時35分、亡くなられました。

平成3年9月に大阪府立成人病センターにて胃の手術を受けられて後、順調に回復に向かわれている御様子でしたのに、その2年後、再び病状が悪化し、享年69才、帰らぬ人となりました。

当連盟にとって掛け替えのない人材を失い、また生前の上野さんを知る者にとっては真に痛恨の思いが残ります。

氏のハーモニカ界への情熱と業績は枚挙にいとまがありませんが、就中まず連盟の会報が挙げられます。

平成元年秋に関西ハーモニカ連盟が再編された時を101号（従来発行されていた連盟誌に敬意を表し、創刊号-1号-とせず、101号とした）として11月に発行。以来、平成5年の秋（117号）まで精力的かつ綿密に連盟会報を編纂して来られました。立派な会報を年4回（初期は5回）も発行し続けると言うのは並みの努力ではありません。

この会報によって当連盟の皆様がどれほど内外の情報を得、かつ会員相互の連携や存在感を持ち得たことか、その恩恵は図り知れません。

殆ど上野氏お一人で編纂されていたこの事業を、氏を失った後誰が担当するのか、今深刻な現実に直面しております。

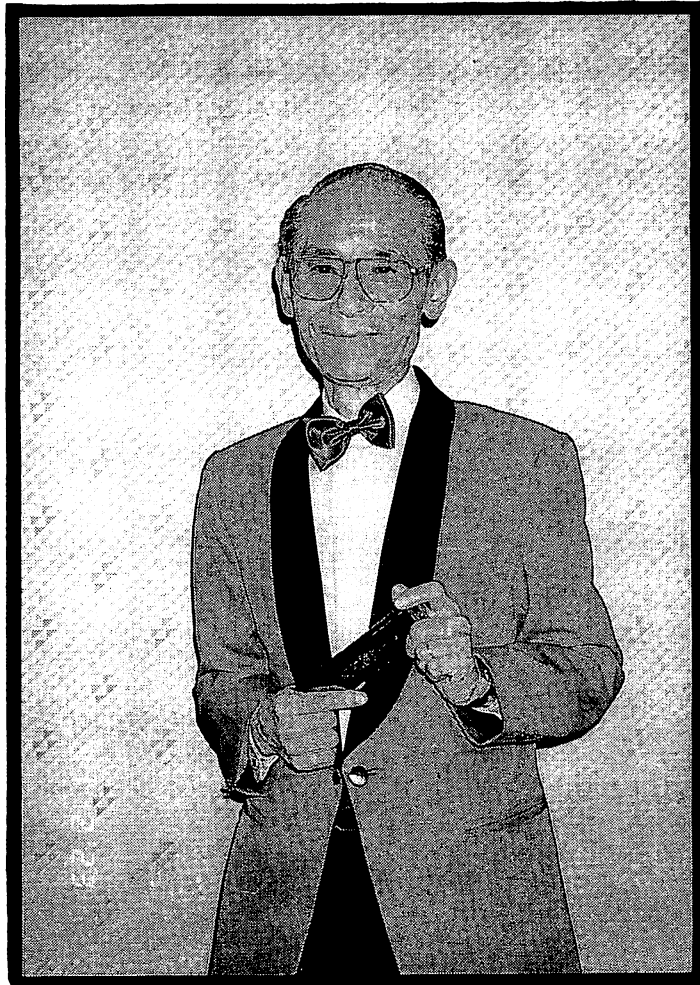
さて次に上野さんとハーモニカの携わりについて触れてみたいと思います。

氏は、大正12年10月31日のお生まれで、和歌山県伊都郡かつらぎ町のご出身と伺っております。そして同町の生んだハーモニカの指導者、池田静治氏に師事されたことが氏のハーモニカ界との終生のご縁の始まりであったと考えられます。本年10月3日かつらぎ町の立派な総合文化会館（800人の大ホールと200人の小ホールを備えた立派な近代的施設）オープン記念行事に焦点をあて、現地で消えかけていたハーモニカの再興とハーモニカ仲間との連携を当連盟の”他地域との交流”の方針に沿って積極的に努力されていた矢先に亡くなられたことはどんなにか心残りであったことでしょうか。しかし当時の弟子であった楠氏らの努力により、現地のかたがたとの交流を保ち得たことは氏の本意に従った意義あるものとなりました。（この件に関しては別ページの楠氏の報告を参照されたい）

上野氏は池田門下にあつて合奏や独奏にも習熟され、後に佐秀会の指導者試験にもすぐ合格され、亡き佐藤秀廊先生編曲の中でも難曲とされる曲の数々を演奏会の度毎に私共に披露されており、関西でもトップクラスの演奏家でもありました。

その真摯なお人柄により、集まる仲間、交野ハーモニカソサィエティーを主宰されたたちまち注目を浴びて、多々出演を依頼されて活躍されていたことは既に多くの皆様が知るところであります。

ついでながら氏のハーモニカへの思い入れは、編集や自己グループの演奏活動に限らず合奏団（関西ハーモニカポップス）のメンバーとしても重きをなし、また、当連盟のみならず佐秀会関西支部連合会の東大阪支部長としても、氏が長年にわたって勤務されていた大阪府庁での豊富な経験と実績を背景にそれら各組織の行事や相談事、段取りや会場の確保、下見、予約等を労を惜しまず足を運んで参画されまた中央との連絡交流も密であった様子で、真に



氏の晩年は獅子奮迅のハーモニカ人生でありました。

今は亡き上野忠彦さんを思うとき、その生前の存在の大きさを改めて噛み締めるとともにこよなくハーモニカを愛した兄のような人を失った慟哭の思いが止まるどころを知らずしかり泣いてばかり居られません。私共は、氏の大穴を補ってさらなる前進を続けなければなりません。その事を上野さんに確と誓いつつ・・・上野さんどうか安らかに眠り下さい。(平成5年12月30日記)

第4回 関西ハーモニカ祭り

堂々開催

第4回 関西ハーモニカ祭りが本年も盛大に開催された。今回は織物とたまねぎの産地、泉州は和泉市のコミュニティーセンターで、秋もたけなわの10月10日と言うすばらしいお膳立てであった。特にアンサンブルが13グループとこれまでに無い盛況ぶりを見せた。又、今年亡くなられた、服部良一、藤山一郎の両氏を称え関西ハーモニカポップスの伴奏で青い山脈を会場の全員で合唱するなど、参加者一同ハーモニカに酔い知れた1日であった。

プログラム

司会 嶋津 寛子
p =Piano 新井 尚子 t =テナー
ch =chromatic

第一部 予定時間 11時--12時15分

		(演奏)	(曲目)	(作曲)	(編曲)
1、	アンサンブル	北千里ハーモニカファミリー	① 四季の歌 ② 駅馬車	荒木とよひさ アメリカ民謡	寺沢 博義 寺沢 博義
2、	独奏	青木 聰	赤い靴のタンゴ	古賀 政男	白鳥 達夫
3、	アンサンブル	ACCハーモニカアンサンブル	① ロード ② 小さな世界	高橋 ジョージ R. B. Sheman	白鳥 達夫 白鳥 達夫
4、	独奏	ch, p 谷本 尚子	中田喜直名曲集より ① 小さい秋見つけた ② 雪の降る町を	中田 喜直 中田 喜直	小林 忠夫 小林 忠夫
5、	同	t 長浜 美智子	夜のプラットフォーム	服部 良一	小林 忠
6、	同	山田 幸太郎	丘を越えて	古賀 政男	
7、	アンサンブル	NBCハーモニカアンサンブル	① 谷間の灯 ② 小さな靴屋さん	アメリカ民謡 R. ビン	白鳥 達夫 白鳥 達夫
8、	独奏	庄戸 寛忠	名月赤城山	菊地 博	小林 忠夫
9、	同	ch, p 川本 建治	乾杯	長瀬 剛	小林 忠夫
10、	同	前田 貞徳	北国の春	遠藤 実	小林 忠夫
11、	同	今井 康郎	ボルガの舟唄	ロシア民謡	佐藤 秀廊
12、	同	飾磨 一夫	タンゴ「黒い瞳」	ロシア民謡	間中 勘夫
13、	同	飛田 保雄	ハンガリア舞曲第5番	ブラームス	森本 恵夫
14、	アンサンブル	尼崎ハーモニカエコーズ	① モナリザ ② 白い海峡	J. ビンクス 伊藤 雪彦	村上 浩一 村上 浩一

第二部 予定時間 13時--14時20分

15、	アンサンブル	灘ハーモニカアンサンブル	カッコワルツ他	ヨナソ	小林 忠夫
16、	独奏	加久田 吉夫	アイルランドの娘	加久田 吉夫	加久田 吉夫
17、	同	ch, t 楠 陽児	ジャニーギター	ディクサー・ヤング	徳永 延生
18、	同	橋本 隆太郎	カッコワルツ	ヨナソ	佐藤 秀廊
19、	同	ch, t 梅本 醇子	イマジン	ジョン・レノン	小林 忠夫
20、	同	寺村 安雄	タンゴ「碧空」	ジョセフ・リクスナー	大石 昌美
21、	同	堀本 幸子	海沼 実名曲集より	海沼 実	小林 忠夫
22、	アンサンブル	奈良ハーモニカ同好会	① 史上最大の作戦 ② 瀬戸の花嫁	ポール・アンカ 平尾 昌晃	白鳥 達夫 白鳥 達夫

23、	独 奏	ch, t	山本 一郎	キサスキサス	オズバルト・ワリス	小林 忠夫
24、	同		岡田 進玄	流れの旅路	上原げんと	小宮田 東峰
25、	同		中川 敬一	氷雨	とまりれん	村上 浩一
26、	同		横井 ひさこ	ローレライワルツ	ドイツ民謡	佐藤 秀廊
27、	同	ch, p	新井 善久	花のワルツ	チャイコフスキー	小林 忠夫
28、	アンサンブル		牧野 ハーモニカ	① 北上夜曲	安藤 睦男	小岩崎 重昭
			アンサンブル	② 北国の春	遠藤 実	宇佐美 進
29、	同		牧野 ハーモニカ	① 峠の我が家	アメリカ民謡	岩崎 重昭
			カルテット	② 湖畔の宿	服部 良一	宇佐美 進

● ゲスト 特別顧問 齋藤寿孝 先生
 ● ゲスト 特別顧問 森本恵夫 先生

第3部

予定時間 14時50分--16時30分

	(演奏)	(作曲)	(編曲)	
30、	アンサンブル	洛水 ハーモニカ アンサンブル	① 祇園小唄 佐々 紅華 ② 琵琶湖周航の歌 不詳	小林 忠夫 小林 忠夫
31、	二重奏	谷口昌子、村田 潤	大阪ラプソディ 猪俣 公章	小林 忠夫
32、	独 奏	神戸 栄一郎	エス・カミリオ ハット・ブル	小吉 森正
33、	アンサンブル	宇治 ハーモニカ アンサンブル	① 山の人気者 加ニ ② 夕焼けこやけと 草川 信	岩崎 重昭 森本 恵夫
34、	独 奏	ch, t 長浜 忠夫	ヴェニスのおり 杉山長谷夫	小林 忠夫
35、	同	村田 潤	雪が降る メンデルスゾーン	小林 忠夫
36、	同	吉見 治	荒城の月 S. アグモ	岩崎 重昭
37、	アンサンブル	ハーモニックス大阪	① バルセンチーノ トミー・ライリー ② ラ・クンパルシータ ロドリゲス	小林 忠夫 岩崎 重昭
38、	独 奏	屋嘉比 盛行	野ばら シューベルト	佐藤 秀廊
39、	同	織田 太郎	シャルダッシュ V. モンティ	織田 太郎
40、	アンサンブル	ジョリー カルテット	① 剣士の入場 J. Fucik ② 夢去りぬ 服部 良一 ③ 青い山脈 服部 良一	白鳥 達夫 松川 義明 白鳥 達夫
42、	独 奏	後藤 貞男	ラ・ノビア ワンキン・ブリエート	後藤 貞男
43、	同	村上 浩一	シャンソン メドレー	村上 浩一
44、	同	ch 小林 忠夫	マラゲーニア ヴォーナ	小林 忠夫
45、	同	吉森 正隆	龍的傳人(中国民歌) 候 徳健	董 礼
46、	アンサンブル	関西 ハーモニカ ポップス	① セレナーデのタンゴ チャイコフスキー ② 八木節 服部 良一 ③ 青い山脈 服部 良一	白鳥 達夫 白鳥 達夫 白鳥 達夫

C調のハーモニカをお持ちの方は、青い山脈の合奏に全員参加下さい。また、その他のかたは、歌詞をご覧になり御唱和下さい。

古い上衣よ さようなら
 さみしい夢よ さようなら
 青い山脈 バラ色雲へ
 あこがれの
 旅の乙女に 鳥も啼く

若くあかるい 歌声に
 雪崩は消える 花も咲く
 青い山脈 雪割桜
 空のはて
 今日もわれらの 夢を呼ぶ

青い山脈
 西条八十 作詞
 服部良一 作曲
 藤山一郎 歌
 奈良光江 歌

和歌山県かつらぎ総合文化会館オープン記念に参加出演を無事終えて

今は亡き編集局長上野忠彦さんを偲んで

楠 陽児

去る10月2日(土)関西ハーモニカ・ポップスが和歌山県かつらぎ総合文化会館会館オープン記念行事に地元出身者の上野様を通じ出演依頼がありました。定員800名の大ホールにて特別出演をし、又地元より池田憲治様の独奏など盛り込み大盛況にて幕を閉じました。その夜は紀見峠の紀伊見荘にて懇親会を開催し地元かつらぎ町より5名、大阪より20名の方が参加して頂き交流の輪が広がり、夜遅くまでハーモニカ談義に花が咲きました。

誠に残念ながらこの日を一番楽しみにしておられた、上野忠彦さんは、この日を待たず9月23日奥様より永眠の報に接し思いもよらぬ悲しいお知らせに胸もつぶれるほどの思いでした。何と申し上げたらよいのか言葉も見つからず、ただ大きな悲しみに沈んでしまいました。7月23日に入院された時は10月の出演には元気な姿でご一緒できると信じていたのに……。

ここで私と上野さんとの出会いについて少し書かせて頂きます。私達一家は、昭和20年3月大阪空襲にて戦災にあい父の親元の和歌山県かつらぎ町の実家へころがり込み、そこで終戦を迎えました。当時私は中学一年生でした。昭和21年私の弟が近所に住んでおられた池田静治先生にハーモニカの指導を受けるように成り、弟の上達ぶりに刺激され私も池田静治先生の門をたたき池田ハーモニカ・アンサンブルに入れて頂きました。そのバンドのトップ奏者として、上野さんが居られました。私は学生ですし上野さんは社会人だったので、当時余りお話も出来なかったまま昭和22年8月大阪へ引っ越すことと成り約1年間のお付き合いでお別れすることに成りました。……。

再会出来たのは平成2年3月に約40年ぶりに上野さんより連絡頂きました。これも上野さんが東京の森本恵夫先生と、電話でお話の中で私の弟の住所を森本先生が知って居られた事で、40年ぶりに再会する事が出来ました。もし上野さんとお会い出来ていなければ私もハーモニカを吹く事が無かった様に思います。平成2年7月に交野ハーモニカ・ソサイエティーの皆さんと初練習をした事が、昨日の事のように思われます。

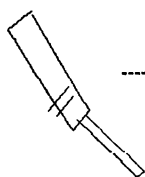
再会出来た事を喜び会い、以前に増して親しみ深くお付き合いの出来る先輩と、二度と話会えないと思うと、悲しさむなしさが無性にこみあげてきてたまりません。今はただ、ご冥福をお祈りするばかりです。

~~関西ハーモニカ・ポップスが和歌山県かつらぎ総合文化会館オープン記念に参加出演~~

14:50 特別出演 関西ハーモニカ・ポップス

上野忠彦 故人を偲び、開幕前に、生前演奏されていたテープにて独奏曲を場内に流す。

- 1、関西ハーモニカ・ポップス ①かつらぎ町民歌 ②懐かしのボレロ ③ふりむけば横浜
- 2、独奏 池田憲治 花かげ
- 3、独奏 吉森正隆 荒城の月幻想的変奏曲
- 4、関西ハーモニカ・ポップス ①あばれ太鼓 ②美中の美 ③青い山脈



ハーモニカ調律と修理の研修会開催



平成5年1月17日(日)大阪市大手前の大阪けいさつ会館において、平成5年度、関西ハーモニカ連盟総会が開催され、この議題の中で、平成5年度事業計画において、ハーモニカ研究会として調律、修理の講習会を開催する事になった。

場所は、大阪で集まりやすいところで、さしあたり、初心者向けのリードの修理程度に開催するという事で決定された。

更に、2月15日と8月7日の常任理事会が開催され、具体的に日時、場所、講師等が決定し下記の通り開催された。

記

- | | | |
|-------|-------------|-------|
| 1、日時 | 平成5年9月4日(土) | 2時～4時 |
| 2、場所 | 福田診療所 | |
| 3、持参品 | 音の狂ったハーモニカ | |
| 4、参加料 | 500円 | |
| 5、講師 | 板村、屋嘉比、村上 | |

講習会当日、参加人員40名が参集し、まず板村講師から総論として資料によりハーモニカの日常管理法について、湿気はハーモニカの大敵、使用後は乾燥を十分にすること。次に調律法としてまずハーモニカの構造と吹音、吸音のリードの場所の違い、調律作業の説明等詳細、下がった音を上げる場合(殆どが上げる作業になる)と音を下げる場合に分けて、上げる場合にはリードの先端にやすりをかける。下げる場合にはリードの根元(リベットで止めてある方)をやすりで削る。いずれも削りすぎない様注意する、と言う説明がなされた。

この後、実技として板村、屋嘉比、村上講師により、実際にハーモニカのカバーを外し、吹音の場合はリードが穴の中にあるので、リードを折らない様注意して、ケンとヘラまたは、割りばしで作ったリードを支えるものを吹口の中に入れてリードを固定してやすりでリードの先を削る。又、吸音の場合はリードが外側にあるのでケンとヘラかりードを挟むもので手軽には安全カミソリでリードをはさみ、やすりで削る作業を行った。

参加者の殆どは、カバーを外した事もないかたがたが多かったので、百聞一見に如かずで、調律、修理の方法がよく分かったといっておられた。又、調律を完璧に行うにはチューナと言う便利な機器が市販されているので、これによると非常に分かりやすい調律が出来る事も実際に行った。

午後4時閉会したが、又機会があればやってほしいとの事であった。

おことわり 酒井涼爾先生の「楽しきかな、わが人生」は今回は
休ませて頂きます。

白鳥達夫

今までは調子記号のつかないハ長調 (C major) 又はイ短調 (A minor) の曲ばかりでした。もしこれ以外の調の曲が出てきた場合、独奏ですと、その調の楽器に持ち替えることで簡単に解決出来るのですが、合奏ではメロディーパート以外は持ち替えの楽器はありません。とくに歌の伴奏をするときは歌手の音域に合わせて、最も適当な調を選ばなければなりません。また、行進曲、メヌエット、ポルカ等々多くの曲が途中で転調しますのでハ長調やイ短調だけで満足してはいけません。せめて調号の#一つ (G major または E minor) あるいはb一つ (F major または D minor) の曲は消化出来るようにしておいて頂きたいと思います。出来れば#およびbそれぞれ2つから3つ位迄は消化できればそれに越したことはありません。

アロハ・オエ

Lilikalani

Moderato

高C	2 5	<u>7 7 6 5</u> · * <u>4 5 3</u>	2 — · 7	<u>6 6 6</u> * <u>5 6 1 7</u>	6 — · <u>2 4 5</u>
中C	7	<u>2 2</u> * <u>2 3</u> · <u>2 3 1</u>	7 — · 2	<u>2 2 2</u> * <u>3 4 6 5</u>	* 4 — · 7
和C	0	G /// C / / /	G /// ///	D ₇ /// / / / /	D ₇ /// / / / 0
低C	0	5 — 1 —	5 — 5 —	2 — 2 —	2 — <u>2 2</u> 0

<u>7 7 6 5</u> · * <u>4 5 3</u>	2 — · <u>5 4</u>	3 <u>6 5</u> * 4 <u>7 6</u>	5 — · <u>0 2</u>
<u>2 2</u> * <u>2 3</u> · <u>2 3 1</u>	7 — · <u>7^b 2</u>	1 3 2 <u>2 1</u>	7 — · <u>0 7</u>
G /// C / / /	G /// ///	C /// D ₇ ///	G /// / 0
5 — 1 —	5 — 5 —	1 — 2 —	5 — 5 0

3 5 $\dot{1}$ · 3	2 5 7 · 5	*4 · 3 4 5 6 6 $\dot{1}$ $\dot{1}$	7 — 5 0 2
1 3 5 · 1	7 2 5 · 7	1 1 1 3	2 — 7 0 7
C /// ////	G /// ////	D ₇ /// ////	G /// ////
1 — 1 —	5 — 5 —	2 — 2 —	5 — 5 —

3 5 $\dot{1}$ · 3	2 5 7 7 5	*4 · 5 7 6 4	5 — — .
1 3 5 · 1	7 2 5 5 7	1 · 3 *4 2 1	7 — — .
C /// ////	G /// ////	D ₇ /// ////	G /// / 0
1 — 1 —	5 — 5 —	2 — 2 —	5 2 5 0

メロディの中に出てくるファの音に全部#がついています。(ご注意頂きたいのは第11小節目と第15小節目にそれぞれファが2回ずつ出てきますが、1小節内では#やbが一度つくとその同じ音には全部#やbをつける事になっていますので、結局ファには全部#がつきます。) これはこの曲の音階がハ長調の1 2 3 4 5 6 7 8 1ではなくて、ト長調の5 6 7 1 2 3 *4 5になっているからです。

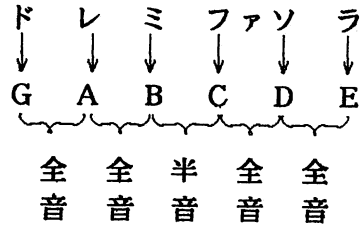
長調の音階では

ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド
全		全	半	全	全	全	半
音		音	音	音	音	音	音

の様にミとファの間およびシとドの間が半音で、その他の音の間は全部全音の間隔になっています。Cの音(日本名ではハの音)を基準にしてそこからドレミファを作れば、ピアノならば白鍵ばかりを順に弾けば簡単に出来ます。これは、音名のC D E F G A B Cが音階と全く同じように三番目と四番目のEとF、そして七番目と八番目のBとCの間が半音で残りは全部全音だからなのです。

	ハ長調		ト長調	
ド	C			
シ	B			
ラ	A			
ソ	G(ト)			ドシ
ファ	F(ハ)	↗F#		
ミ	E(ホ)			ラ
レ	D(ニ)			ソ
ド	C(ハ)			ファミ
				レ
	B(ロ)			
	G(ト)			ド
階名	音名			階名

もしGの音（日音名でトの音）から音階を作ろうとすると



まではそのまま当てはまるのですが、ラとシは全音なのにEとFは半音ですから、Fを半音上げて使わねばなりません。ピアノならばFの右隣にある黒鍵を使い、ハーモニカならばC調の楽器の上にC[#]（D^b）の楽器を重ねて[#]4を使うことになる訳です。

なお、高音パート3小節目にある[#]5は臨時の変化ですから、次の小節では元の5に戻ります。念のために^b記号をつけておきました。また中音パートの5小節目、始めの二個の2の音は普通の音、三つめの2に[#]がつきますので、その次の四つ目の2にもやはり[#]がつくことをお忘れなく、これも次の小節の2に念のため^b記号をつけてあります。ト長調で主要三和音はGとCとD₇になります。

主和音	G	5	7	2
下屬和音	C	1	3	5
屬七和音	D ₇	2	[#] 4	6 1

お正月

				滝 廉太郎
高C	5-6 <u>5 6</u>	7 [•] 2 7 -	6 6 5 6	7 - . 0
中C	<u>7</u> - 1 <u>7 1</u>	2 [•] 7 2 -	1 1 7 1	2 - . 0
和C	<u>0G// 0///</u>	0G// 0///	<u>0D₇// 0///</u>	<u>0G// 0///</u>
低C	5 0 2 0	5 0 5 0	2 0 2 0	5 0 5 0

<u>5 5 3 3 2 2 2</u>	<u>5 5 6 6 7 0</u>	<u>7 7 6 5 5 5 5</u>	<u>6 6 7 7 2 6 5 [•] 4</u>
<u>3 3 1 1 7 7 7</u>	<u>7 7 2 2 5 2 3 2</u>	<u>5 5 [#]4 2 2 2 2</u>	<u>2 2 5 5 [#]4 1 7 6</u>
C 0 G 0	G D ₇ G 0	G 0 / 0	D ₇ G D ₇ 0
5 0 5 0	5 [#] 4 5 0	5 0 5 0	[#] 4 5 6 0

5 — 6 5 6	7 [•] 2 7 7	6 6 7 6	5 — . 0
7 — 1 7 1	2 7 2 2	1 1 2 1	7 — . 0
0G// 0///	0G// 0///	0D ₇ // 0///	0G// / 0
5 0 2 0	5 0 5 0	2 0 2 0	5 2 5 0

第7回 アンデパンダンコンサートに参加して

吉見 治

私がハーモニカをやるきっかけになったのは、平成2年の第四回佐秀会コンサートでした。兄に誘われて、国際楽器ホールへいったのを思い出します。最初の演奏者から最後の演奏者が終わるまであっという間に時間がたったのを覚えています。ただのハーモニカとなめてかかっていた私が、数ヶ月後にはあまりの難しさに悩むことになろうとは思っていませんでした。当時ハーモニカ教本が欲しくてどうすれば手に入るのか電話した先が岩崎先生宅だったのです。先生ご本人が、電話に出られ、後で考えると、これこそ（怖いもの知らずの強み）と、言うやつだな〜と、思いました。

これがきっかけで、岩崎先生の門下生にしていただき、現在に至っています。

やればやるほど難しくなる楽器だと最近特に思います。そのうち合奏もやりたいと思うようになり、関西ハーモニカ・ポップスに無理にいれてもらったのですが、もともと楽譜が読めない上、拍子音痴も手伝って一年もたたないうちに自分からやめる結果となりました。それでも諦めきれず悩んでいるとき、コンサートで知り合った、宇佐美進氏が牧野で初心者ばかりの教室を開いておられる事を聞いて生徒に入れていただきました。

ドレミのドから丁寧に教えておられるのを見学して、これなら私にもってこいという感じで、現在なんとかカルテットの一員として人前で演奏出来る様になりました。

今では月に2〜3練習日が待ち遠しくなりました。他のグループの方も、年々上達され、私も負けられないという気持ちで、毎日練習に励んでおります。

複音ハーモニカを主体としてクロマチックコードハーモニカと欲が出てきたのも、最初にきっかけを作ってくれた兄はもちろんの事、関西ハーモニカ・ポップスの団員の方、現在お世話に成っている教室の方々に心から感謝しています。

牧野ハーモニカカルテットの一員として参加できた、第7回コンサートは以上のような意味も合って、私には記念する日となりました。

次回、日本で開かれる、世界大会には今までお世話になった方に恩返しの意味でもアンサンブル部門、ソロ部門両方入賞出来るまでに成るべく、更に努力を重ね、夢を実現したいと思えます。

「為せば成る為さねば成らぬ何事も」 私の好きな言葉です。

第7回 アンデパンダン
ハーモニカ・コンサート

六甲に流れる

ハーモニカのしらべ

日本ハーモニカ芸術協会、関西支部連合会主催、アンデパンダン・ハーモニカコンサートが六甲山の麓、神戸市で7月3日堂々開催された。第7回目を数える本大会では、25名のソロ演奏と、7グループのアンサンブルが参加しハーモニカ芸術の広がり益々感じさせるものとなった。地元の”エコーズ・グリーン六甲”が故服部良一氏にちなんで「青い山脈」を演奏すれば、トリの”関西ハーモニカ・ポップスは”「夜のプラットホーム」を演奏するなど、ここでも服部良一氏を心から惜しむ声が聞こえる様であった。

記

とき 平成5年7月3日(土曜日) 正午 開演
ところ 神戸市立東灘区民センター 5F 大ホール
後援 全日本ハーモニカ連盟・関西ハーモニカ連盟

プログラムは下記のとおり

第1部

1	アンサンブル	尼崎ハーモニカ エコーズ	①森の小人 ②町の小さな靴屋さん	山本雅之 R.ビル	村上浩一 村上浩一
2	独奏	平口 謙二	箱根の山に寄す	滝 廉太郎	佐藤秀廊
3	同	古田 豊江	遠くへ行きたい	中村八大	村上浩一
4	同	吉岡 とみ子	琵琶湖周航の歌	吉田ちあき	西田幸司
5	同	寺田 敏雄	古城	細川潤一	西田幸司
6	同	千田 清忠	小さな喫茶店	レイモンド	加藤修成
7	同	今井 康郎	ヴォルガの舟唄	ウタ民謡	佐藤秀廊
8	アンサンブル	牧野ハーモニカ カルテット	①月の砂漠 ②故郷の廃家	佐々木すぐる ヘイス	岩崎重昭 岩崎重昭
9	独奏	井崎 カズ子	アラビアに行く	佐藤秀廊	佐藤秀廊
10	同	中川 敬一	リラのタンゴ	塩崎公移	佐藤秀廊
11	同	神戸 榮一郎	夕やけ小やけ変奏曲	草川 信	佐藤秀廊
12	同	松川 義明	ハーモニカウエスタン	松川義明	松川義明
13	同	猪飼 幸太郎	タンゴ花嫁人形	杉山長谷夫	佐藤秀廊
14	同	村上 浩一	青いカナリヤ	フィオリノ	村上浩一
15	同	西田 幸司	シャンソン・ド・パリ		佐藤秀廊
16	アンサンブル	エコーズ・グリーン六甲	①青い山脈 ②山小屋の灯	服部良一 米山正夫	村上浩一 村上浩一

第2部

17	アンサンブル	北千里ハーモニカ ファミリー	①雨夜花(ウチホコ) ②世界は二人のために	台湾民謡 いずみたく	石川澄男 石川澄男
18	独奏	畑 婦美子	金婚式	マリー	佐藤秀廊
19	同	壇 和雄	涙の連絡船	市川昭介	壇 和雄
20	同	飛田 保雄	ハンガリアン舞曲第5番	ブームス	森本恵夫
21	同	渡辺 昇	さくらのワルツ	江戸古謡	佐藤秀廊
22	アンサンブル	牧野ハーモニカ アンサンブル	①乾杯 ②埴生の宿	長瀬 剛 ビショップ	斎藤壽孝 森本恵夫

21	独奏	西谷 喜美子	青葉の笛幻想曲	田村虎蔵	佐藤秀廊
22	同	寺村 安雄	悲しい酒	古賀政男	大石昌美
23	アンサンブル	奈良ハーモニカ 同好会	①こどもの世界 ②瀬戸の花嫁	シャマン兄弟 平尾昌晃	岩崎重昭 白鳥達夫
24	独奏	後藤 貞男	愛の喜び	G. マルチニ	平口謙二
25	同	仲村 眞	ウリアムテル序曲よりフィナーレ	ロッシーニ	大場善一
26	同	上野 忠彦	叱られて	弘田竜太郎	大石昌美
27	同	屋嘉比 盛行	新内流し	古 謡	福島常雄
28	同	山村 信彦	シューベルトのアパリア	シューベルト	佐藤秀廊
29	同	吹上 晴彦	「荒城の月」 幻想的変奏曲	滝 廉太郎	佐藤秀廊
30	同	吉森 正隆	牧民新歌	中国民謡	伝 豪 久
31	同	蔭山 孝太郎	ラ・クナルシータ	ロドリゲス	蔭山孝太郎
32	アンサンブル	関西ハーモニカ ポップス アンコール曲	①十二番街のラグ ②こころ酒 ③夜のプラットホーム なつかしのポレロ	E. ボーマン 山口ひろし 服部良一	白鳥達夫 白鳥達夫 白鳥達夫

関西ハーモニカ・ポップス 第18回定期演奏会開催さる

関西ハーモニカ・ポップスの定期演奏会が去る11月19日、大阪淀屋橋の朝日生命ホールで開催された。会を重ねること18回、今回は新しい試みとして「ましろのぶ新舞踏研究所」の皆さんの特別出演があり、これまで以上の盛り上がりを見せた。ハーモニカの伴奏で西滝慶子さん等が歌い、元OSKで活躍された真城のぶさんを中心とする5名の皆さんが日本情緒豊かな和服姿で舞いを舞う姿に会場は芸術の秋にふさわしい、華やいだ雰囲気包まれた。

また、今年亡くなられた服部良一、猪俣公章の両氏に因み「懐かしのポレロ」「ふりむけば横浜」が第1部で、そして今年没後100年を迎えるチャイコフスキーに因んで「セレナーデ」をタンゴにアレンジして演奏された。最後に今年生誕150年を迎える「E. グリーク」作曲の「ペールギュント」組曲から、「朝の気分」「オーゼの死」「アニトラの踊り」「山の魔王の洞窟にて」「ソルヴェイグの歌」でしめくくった。

プログラム 指揮と編曲 白鳥達夫 司会 嶋津寛子
 第1部 八木節(群馬県民謡) 日本昔ばなし(北原じゅん作曲) 懐かしのポレロ(服部良一作曲) ふり向けばヨコハマ(猪俣公章作曲) もうひとつの土曜日(浜田省吾作曲)
 独奏-白鳥の踊り シャンソン枯れ葉とロマンス(吉森正隆)
 重奏-エルタンゴ 野に咲く花の様に(吉森正隆・織田太郎・酒井涼爾・松川義明)
 第2部 新舞踏組曲”歌によせて秋に舞う” 「ましろのぶ新舞踏研究所」の皆さん
 歌 西滝慶子、白鳥達夫 伴奏 関西ハーモニカポップス
 第3部 行進曲「美中の美」 セレナーデのタンゴ 組曲「ペールギュント」より朝の気分
 オーゼの死 アニトラの踊り 山の魔王の洞窟にて ソルヴェイグの歌

尼崎ハーモニカエコーズ、

創立10周年記念コンサートを開催

尼崎市、大庄公民館を拠点に活動を続けている「尼崎ハーモニカエコーズ」が10周年の佳節をむかえ、これを記念して「たのしいハーモニカコンサート」が、10月16日、大庄公民館で催された。これを1つの節として益々の発展が期待されます。同会の松山修三氏より以下の原稿が寄稿された。

創立10周年記念コンサート

尼崎ハーモニカエコーズ

松山 修三

尼崎は人口50万、兵庫県下では神戸市に次ぎ第2位の人口の多い都市である。昭和58年、ハーモニカ愛好者の奏法研究とメンバーの親交を深める為、ここにグループを結成し「ハーモニカ愛好会」と名付けた。(創立10周年を機に尼崎ハーモニカエコーズと改名)

本拠を市立大庄公民館に置き、門を広げてハーモニカを目指す人々を受け入れた。関西ハーモニカ界で令名の高い西田幸司氏(独奏指導)、村上浩一氏(合奏指導)が創立以来のメンバーで巨指導に当たって下さり、月2回の練習は独奏と合奏を交互日に行いつつ現在に至っている。メンバーは35名で女性がやや多い。メンバー在籍歴は平均4年位であろうか。

これまで年1回定期公開発表会を開いたり、県や市のイベントに積極的に参加し、ハーモニカ演奏団体としてアピールするよう心がけてきた。今年は創立10周年に当たるのでかねて委員を選任し記念行事の構想をまとめてきた。行事のメインは当然コンサートであり、開催を10月16日(土)、場所・大庄公民館と決定した。これまでハーモニカ音楽が一般市民の方々にあまり馴染みがなかった事を痛感していたので、此の機会に本格的な演奏を紹介し、理解を深めて頂き度く、特に有力団体の出演をご依頼申し上げていたところ、ハーモニックス大阪、京都ハーモニカ・カルテット、ソアーベ、エコーズグリーン六甲のそうそうたる団体のご参加を頂く事ができた。記念コンサート開催について尼崎市教育委員会、市広報室庁内記者クラブに案内し、プログラムは市内各公民館や図書館に配布した。市広報室から記事や写真取材があり、産経、読売両新聞が取り上げ大きく報道された。

コンサート当日は正午開場と共に聴衆がつめかけ、補充した椅子もたちまち足りなくなりやがて大ホールの座席後部まであふれてきた。プログラム部は主としてメンバーによる演奏で、二部がゲスト団体の出演に当たった。ゲストを御紹介するとエコーズグリーン六甲 当会独奏指導者、西田幸司氏主宰。当会と姉妹関係にあるアンサンブル。 曲目 琵琶湖周航の歌、河内おとこ節。美しい旋律でゲスト演奏の幕を切って頂いた。

ソアーベ 滋賀県出身。県下旧制高女同期生7人によるアンサンブル。活動歴5年。曲目ウオッシングマチルダ、ユウアーマイサンシャイン、四季、でメンバーによるピアノ、ギター伴奏を交互に組み入れて熱演、鮮やかなピンクのコスチュームは観客の目を奪った。

メンバー
赤崎千勢子、岡 良子(ギター)、里内文子、島 寿子、中島敬子(ピアノ)、藤井照子、横井ひさこ さん等。

ハーモニックス大阪 関西ハーモニカ界で中心的存在の方々5人。各地で充実した演奏を続けてこられた尊敬するアンサンブル。本日の大型機器を駆使した見事な演奏は観客を魅了した。曲目 クラリネットポルカ、悲しい酒、バルセンチノ、ラ・クンパルシータ。
メンバー ファースト（クロマチック）西本豪介、セカンド（複音、クロマチック）宇佐美進、サード、バス（複音、クロマチック）上本 洋、コード金川 一、バス村上博昭 の各氏。

京都ハーモニカカルテット 本年3月東京での世界ハーモニカ連盟日本支部コンテストにアンサンブル部門一位入賞、余勢をかって同ドイツで行われたワールドハーモニカチャンピオンシップスに出場、見事アンサンブル部門第一位の栄冠を勝ち得たグループ。若々しく華やきを感じる青年男女4人の編成。演奏に先だち同グループの和谷代表から、本日歓迎して頂き此のステージで演奏することは誠に光栄で、その上皆さんから深厚な祝福を頂き感謝している。入賞は偶然で、まだまだ未熟と思っているので、今後も心を引き締め向上を目指して頑張りたいと挨拶があった。曲目 道化師のギャロップ、二つのギター、バルセンチノタイガーラグ、此の後特にチャンピオンシップスでの優勝曲「ルーマニアラブソディ」を演奏して下さった。メンバー ファースト（クロマチック）和谷篤樹、セカンド（クロマチック）新井尚子、バス田中幹子、コード北尾秀夫さん等。軽快でリズムカルな曲の他、入賞曲を生演奏で聴き、観衆の興奮が高まり、アンコールの声が各所から上がりこれに答えて頂いた。演奏後メンバーの受賞を祝し当会からささやかな花束を贈呈した。

記念コンサートは盛況裡に終わった。心地よい興奮はいつまでも放れ難い。10年の歳月に培った諸々の力を集中し、全員が取り組んだ甲斐合って、市民に多大の感銘と満足を与えた事は、ハーモニカへの理解増進に役だった事と思う。不十分な点もあった事と思うが記念コンサートを完成させた意義は我々にとって極めて大きかった。それと共に多忙遠隔をいとわず積極的に参加し、最高の演奏を披露して下さったゲスト各団体に只々感謝するばかりである。創立10周年と共に永く銘記したい。同時にこれからも研究と親交を深め乍ら勉強しハーモニカを目指す地域の市民や団体に少しでも多くの機会を提供し親しみ且参加して頂くことに取り組んで行きたい。そしていつの日か好機に多くの著名団体参加の下に、大勢の市民を招待した大ハーモニカコンサートが、我が尼崎で開催されることを夢見ている。

終わりにハーモニックス大阪の宇佐美さん、自前の音響機器を当日朝早くからセットして下され共用させて頂いて、演奏活動を高めて下さった事、又日本ハーモニカ芸術協会、関西ハーモニカ連盟、関西ハーモニカの友社の御後援を頂いた事、共に心からお礼申し上げます。

1日体験・ハーモニカ教室開催

明石市中央公民館のサークル活動は69あるが、その内話し方サークルの特別企画として下記の通りハーモニカ教室を開催した。

- 1、日時 平成5年12月18日（土） 15：30～17：30
- 2、場所 明石市立中央公民館研修室
- 3、講師 村上浩一（関西ハーモニカ連盟常任理事）
- 4、内容 ハーモニカの歴史・種類・構造・持ち方・楽譜
ドレミから始めて簡単な童謡、唱歌を皆で吹く練習を行った。
- 5、参加人員 15人
受講料無料、参加自由

ハーモニカコンサート

～井上隆寿追悼&小林ファミリーの集い～

過日、関西ではお馴染みの、小林ファミリーのコンサートが、連盟の初代理事長であられた、故井上隆寿氏の追悼を兼ねておこなわれた。

暑い真夏の昼下りにもかかわらず、会場にはあふれんばかりのハーモニカファンが集まる盛況振りであった。

と き 平成5年7月24日(土) PM 2・00

ところ 京都・四条 山一証券ホール

出 演 小林忠夫

スリーパーツ ハモカ 小林忠夫 キーボード/リガ 赤井由美子 ドラム 赤井 博素
和谷泰扶・和谷麻里子(ピアノ)

京都ハーモニカカルテット 1st知マック 和谷篤樹 2st知マック 新井尚子
バ ス 田中幹子 ムード 北尾秀夫

新井善久

田中祥雄

曲 目 ◇越後獅子◇グラナダ◇シャンソンメドレー◇天国と地獄◇インドの歌◇ラ・クンバルシート◇二つのギター◇バルセンチノ◇サマータイム◇ルーマニアン・ラブソディ◇ルーマニア・ファンタジー◇トレド◇ナット・キングコール(ヒット曲集より)◇グレン・ミラーメドレー◇見上げてごらん夜の星を出
e t c.

ハーモニカコンサート

～ 井上隆寿追悼&小林ファミリーの集い ～ を聞いて

村田 潤

『井上隆寿追悼&小林ファミリーの集い』と題するコンサートが、さる7月24日(土)京都四条の山一証券ホールで開催された。当日は開会の1時間位前から行列が始まり、開場直前になると、全部の人が入れるのかと心配になる位となり、小林ファミリーの人気の程を窺い知ることができる。やがて立見の人も出る状態でコンサートは始まり、小林忠夫氏の「赤とんぼ・ふるさと」から童謡メドレー、シャンソンメドレーと続き、小林氏とお嬢さん夫妻の「スリーパーツ」によるグラナダ、天国と地獄、続いて今年度全日本チャンピオンに輝く、「京都ハーモニカカルテット」の、インドの歌、ラ・クンバルシート、二つのギター、などの歯切れの良い演奏を聞くうちにコンサートは佳境に入り、やがてドイツから帰国して参加された和谷泰扶氏の、トレド、ルーマニア・ファンタジーなど、益々磨きのかかった演奏をうっとりしながら聞くうち、2時間があっという間に過ぎ、最後に井上隆寿氏の未亡人に花束の贈呈があり、コンサートは終了したが、誰もがこの次もぜひ聞きたい、その為にはこの『小林ファミリー』が永遠に存続する様、念じつつ会場を後にしたのだった。

大盛況の枚方ハーモニカコンサート

宇佐美 進

続く不順な天候の心配が嘘であったかのような秋晴れに恵まれ、11月19日、20日の両日枚方市立牧野公民館と津田公民館で、ファンタスティック・ハーモニカ・カルテットをお招きして「ハーモニカ・コンサート」が開催されました。

昨年5月に牧野公民館のはからいで、地域としては初の「ハーモニカ・コンサート」が実現しましたが、大変ご好評を頂き「来年も開催してほしい」との要望が多く寄せられた為、今年は2つの公民館での開催となったものです。

世界最高レベルの奏者4人が勢ぞろいしての来演とあって、前売券は早々と売り切れる程の人気の、遠路岡山からのご来場もありました。

当日は臨時に増やした客席も満席状態となりましたが、狭い開場だけに演奏者と客席に緊密感がただよい、息づかいが伝わるような熱気溢れるコンサートとなりました。

プログラムは次の通りです。

第一部 厚木ハーモニカ・トリオ

遠くへ行きたい 愛の賛歌（牧野会場のみ） 森の熊さん（津田会場のみ）
思い出のアルバム（津田会場のみ） 湖畔の宿

岩崎重昭氏ソロ

ロシア民謡メドレー 浜辺の歌

森本恵夫氏ソロ

宵待草 ラ・スパニオラ

第二部 宇佐美 進ソロ

荒城の月幻想的変奏曲

森本・大矢・平井トリオ

シャンソンメドレー 天国と地獄序曲

ファンタスティック・カルテット

オリーブの首飾り 道化師のギャロップ 枯葉 舟歌（牧野会場のみ）
涙の連絡船（津田会場のみ） 熊蜂の飛行

ウィリアム・テル序曲（アンコール曲） ラ・クンパルシータ（アンコール曲）

巧みな大矢氏の司会進行に吸い込まれ、コンサートはあっという間に終了してしまいましたが、ファンタスティック・ハーモニカ・カルテットの演奏に、客席のあちこちで「さすが世界一」とため息が聞かれ、大満足頂いたお客様が多かったように感じました。

今回も、ハイレベルのハーモニカ演奏を地域の方々に聞いて頂きハーモニカ人口の輪を広げるとともに、ハーモニカ演奏のレベル向上に大きく貢献できたことを嬉しく思いますとともに、枚方のハーモニカ熱が年々高まりつつあることを心強く感じている次第です。

アンサンブル スリーパーツ ♣♣♥◆♥♣♣♣♥◆ ソプラノ歌手 佐藤瑛杜子

ハーモニカとソプラノで綴る、こころの譜 京都 V.O.Xホールにて開催

ユニークなファミリーバンド ”アンサンブル スリーパーツ” はさる11月6日、京都河原町のV O Xホールで「ハーモニカとソプラノで綴る、お昼の音楽散歩、世界の名曲、愛唱歌を訪ねて こころの譜」と題し、コンサートを開催した。アンサンブル スリーパーツは、ハーモニカ・小林忠夫、キーボード&マリンバ・赤井由美子、ドラムス・赤井博素の諸氏で構成される、文字通りのファミリーバンド。ジャパンフェスティバル等で活躍されているソプラノ歌手、佐藤瑛杜子さんの特別出演もあり、すばらしい秋のひとつを演出した。以下、谷口昌子さんが感想文を寄稿されています。

11月6日(土)に河原町のV O Xホールに於いて、'こころの譜'と題されたハーモニカと歌のジョイントコンサートが催されました。

佐藤瑛杜子さんのすてきな歌声と、そのバックに聞こえるハーモニカのやわらかい音色。とてもすてきでした。選んだ曲が唱歌と、私達が一緒に口ずさめるのも良かったです。歌おんちの私でさえ思わず一緒に歌っていました。

又、一人で幾種もの楽器をこなす小林ファミリーの演奏にも目をみはるものがありました。特にマリンバによる'熊蜂の飛行'は実際に熊蜂が目の前を飛んでいる様でした。とにかく一時間半があつという間に終わってしまったようなすごく長かった様な、中味の濃いものであったのは確かです。

これからも、このような企画をどんどん催して欲しいと思う。

93 土曜コンサート・・・ハーモニカと合唱の夕べに
京都ハーモニカクワルテット&小林忠夫 出演

去る9月11日、京都市円山音楽堂に於いて、'土曜コンサート'が開催され、小林忠夫氏がパリの空の下他5曲を、京都ハーモニカクアルテットがグラナダ他5曲を、それぞれ演奏した。プログラムは次の通り。

小林 忠夫

- パリの空の下..... G. ギャノン作曲
- パリの..... TAUL. DURAND作曲
- 荒城の月..... 滝 廉太郎作曲
- マロニエの..... 細川 潤一作曲
- ラ・クンパルシータ..... ロドリゲス作曲
- 京都ハーモニカクアルテット
- プ・アオ・エワ..... ハワイ民謡
- ひばり..... ルーマニア民謡
- Yesterday..... ポール・マッカートニー
- タイガーラグ..... ラグ作曲
- グラナダ..... A. Lara作曲

◇ 平成5年度に入会された方

天理市	岡田進玄氏
高槻市	北側啓太郎氏
大阪市	真鍋仁規氏
大津市	筒井松太郎氏
京都市	植田利雄氏
大阪市	秋野 實氏
茨木市	宇津原 昭氏

◇ おわび

本追悼特集号掲載の通り、編集局長上野氏の急忌により発行が遅れました事を心からお詫び申しあげます。引き継ぎはしたものの会報の発行は大変な作業で、上野氏の御努力にあらためて敬意を表する次第であります。

◇ 編集後記

JR京橋駅の構内には、珍しく喫茶店がある。この喫茶店は、駅の外からも入る事ができる。丁度上野さんの住んでおられた学研都市線（片町線）の星田から一本で約20分、印刷屋さんの最寄りの福島駅からも、仲村理事長の最寄りの天王寺からも近く、よくそこで編集会議を持ったものである。

背筋をぴんと伸ばし、マドロスパイプに良い香のするきざみたばこを入れ、少し斜めに構え、「どうですか。しっかり見て下さいよ。」と得意気におっしゃって、にくいほどダンディな人であった。それでいて楽譜の訂正に使う細いペン等の小道具ももって来ておられ、すぐその場で修正したり、非常にきめ細かい注意力のある一面を持ち合わせておられた。

考えて見ると、とんでもない事を引き受けたものである。上野さんの編集された会報を見るにつけ「到底このレベルの会報は出来ないな」とため息をつく昨今である。各成る上は人海戦術で当たるしか無いと、理事長に協力者を要請した次第であった。

幸い今後は編集会議なるものを開き、一致協力して内容の充実を図る体制がしかれたので非常に心丈夫に思い、ぜひ少しでも良い会報にしていきたいと思う。

心配のたねは、楽譜のワープロ打ちであったが数学記号の打てるソフトを使用していた為、すべて機械打ちが出来た。これは有り難いことである。

編集したものをあらためて眺めてみると、単調でもう少し遊び心がほしかったと思っている。絵とか図柄とか工夫をこらし、もう少し軟らかい紙面にすべきだったと反省している。

いずれにせよ、より一層の充実を図るべく、情報の提供、内容の提案等積極的に広く御協力をお願いする次第である。

編集局長 後藤貞男

関西ハ一モ二カ連盟
平成5年12月発行
第118号

発行責任者 理事長 仲村 眞
〒545 大阪市阿倍野区三明町2-6-10
発行者 事務局長 新井 善久
〒600 京都市下京区花屋町通西洞院
東入 563
編集局 後藤 貞男
〒596 岸和田市春木旭町36-17